

小金井市清掃関連施設整備工事（資源物処理施設）  
審査講評

2021（令和3）年11月

小金井市清掃関連施設整備事業者選定委員会

## 目 次

1.	はじめに	1
2.	工事概要	1
1)	工事件名	1
2)	建設場所	1
3)	工事目的	1
4)	施設規模、計画ごみ処理量	1
5)	工事期間	1
3.	審査方法等	2
1)	入札方法	2
2)	落札者決定基準	2
3)	資格審査	4
4)	総合評価審査	4
5)	審査経過	7
4.	審査結果	8
1)	資格審査	8
2)	基礎審査	8
3)	技術要素審査	8
4)	価格要素審査	9
5)	総合評価	9
6)	落札者名	9
5.	審査講評	10
1)	技術審査項目の講評	10
2)	総評	11

別添資料

## 1. はじめに

小金井市（以下「市」という。）は、小金井市清掃関連施設整備工事（資源物処理施設）（以下「本工事」という。）を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）を制限付一般競争入札（総合評価方式）により、公正かつ公平に選定するため、清掃関連施設整備事業者選定委員会（以下「委員会」という。）を設置した。

この度、委員会における審議・審査を終えて落札者を選定したので、ここに審査講評を取りまとめるものである。

## 2. 工事概要

### 1) 工事件名

小金井市清掃関連施設整備工事（資源物処理施設）

### 2) 建設場所

小金井市貫井北町一丁目 8 番 25 号

### 3) 工事目的

本工事は市内で排出されるプラスチックごみ、ペットボトル、空き缶、びん等を選別・圧縮・梱包し、資源とすることができ、かつ公害防止対策は住民が安心できる万全な清掃関連施設を整備することを目的とする。

### 4) 施設規模、計画ごみ処理量

(a) 施設規模 21.6t/5h

(b) 計画ごみ処理量

① プラスチックごみ	2,543t/年
② ペットボトル	369t/年
③ 空き缶	301t/年
④ びん	1,202t/年
⑤ 有害ごみ	63t/年
⑥ スプレー缶	55t/年
⑦ 金属	129t/年
⑧ 布等	656t/年

### 5) 工事期間

契約確定日の翌日から、2025（令和 7）年 3 月 21 日まで

### 3. 審査方法等

#### 1) 入札方法

入札の方法は、地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 10 の 2 第 1 項の規定に基づき総合評価一般競争入札により実施した。

#### 2) 落札者決定基準

事業者決定における審査は、4 つのステップ「資格審査」、「基礎審査」、「技術要素審査」、「価格要素審査」で構成され、総合評価で落札者を決定した。

入札の公告後から契約締結に至るまでの流れは図 1 に示すとおりである。

##### 【STEP1：資格審査】

一般競争入札参加資格確認申請書に合わせて、入札希望者の実績が定められた参加資格要件を充足しているか確認を行う。

##### 【STEP2：基礎審査】

入札書類の確認、及び基礎審査となる提案内容が発注仕様を満たしているか確認を行う。

##### 【STEP3：技術要素審査】

技術要素に関する提案について審査を行う。その際には記載内容についてのヒアリングを行う。

##### 【STEP4：価格要素審査】

入札された価格より価格評価点の算出を行う。

##### 【総合評価】

STEP3 において算出した技術要素審査の点数と STEP4 の価格要素審査の点数を合わせて提案に関する総合評価点とする。

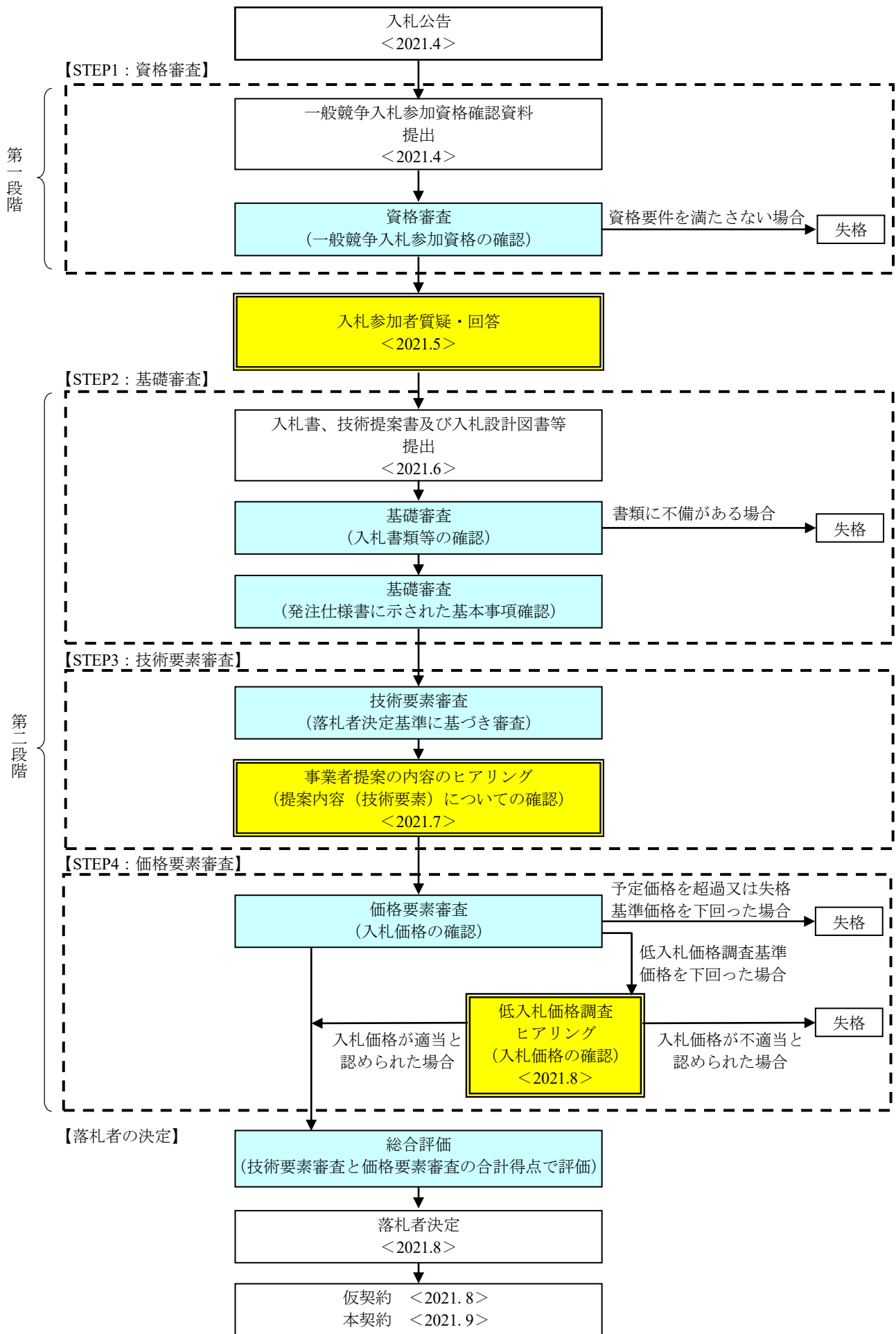


図1 契約締結までの流れ

### 3) 資格審査

入札希望者から提出された資格審査申請書等から、入札告示の「2 制限付一般競争入札に参加できる単独企業又は特定建設工事共同企業体の代表者の資格要件」及び、「3 競争入札に参加できる特定建設工事共同企業体の構成員の資格要件」を満たしていることを確認し、結果を入札希望者に対し通知する。なお、参加資格要件を満たしていない場合は失格とする。

### 4) 総合評価審査

#### (1) 基礎審査

資格審査を合格した入札参加者から提出された書類について、発注仕様書等に示された性能要件を満足するかの審査を行う。以下に、基礎審査における評価の視点を示す。なお、発注仕様書等に示す基準を満たしていない場合は失格とする。

- ・提出書類等の確認

提出書類の不足、体裁の誤り、書類間での記載の不整合など提案書として適切なものとなっているか確認を行う。

- ・契約条件の遵守

発注仕様書等において記載した契約条件を遵守しているか確認を行う。

- ・発注仕様書に示された基本事項の確認

入札書類と発注仕様書を対照させ、発注仕様書に記載された満たすべき水準に達しているか確認を行う。

#### (2) 技術要素審査

技術要素審査の方法を以下に示す。なお、技術要素審査を行うにあたっては、別途、ヒアリングを実施する。

##### (a) 技術要素審査における評価の視点及び点数化の方法

技術要素審査の提案内容の評価の視点及び点数化の方法については、以下のとおりとする。技術要素審査の配点は、60点（総合評価点は100点満点）とする。

##### (b) 技術要素審査の提案内容の評価の視点及び配点

技術要素審査の提案内容に対する評価の視点及び配点は表1のとおりとする。

##### (c) 技術要素審査の点数化の方法

技術要素審査の提案内容について、表1に示す評価の視点にならない、表2に示す5段階評価によって審査を行い、点数化する。なお、点数化にあたっては、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで算定する。

表1 技術要素審査の提案内容に対する評価の視点及び配点

技術要素	項目	評価の視点	配点
効率性・経済性に優れた施設	ごみ供給条件、物質回収、資源化率・量	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ量及びごみ質の変動に対して、安定した受入・処理が可能となる具体的な計画であるか。</li> <li>資源物及び有価物として回収される容器包装、金属類等について、現実的かつ安定して資源化できる計画であるか。</li> </ul>	5
	ライフサイクルコストの低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の長期稼働を目指していくために、耐久性、コスト低廉化について具体的な計画であるか。</li> </ul>	10
	省力性・利便性、省エネルギー・地球温暖化防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転管理及び維持管理の容易性について具体的な計画であるか。</li> <li>電力量、燃料使用量の削減量、自然エネルギーの有効利用策について具体的な計画であるか。</li> </ul>	5
			<b>20</b>
環境と安全に配慮した施設	公害防止対策、作業環境保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主管理基準を満足しつつ、更なる低減を図ることができるような具体的な提案がなされているか。</li> <li>作業環境測定基準を満足しつつ、更なる低減を図ることができるような具体的な提案がなされているか。</li> </ul>	5
	災害時・非常時対応、事故・故障時対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性に優れ、非常時（地震、火災、停電等）においても可能な限り安定した操作が確保できる計画となっているか。</li> <li>安全、安定した稼働を目指していくために、故障・事故の防止、トラブル発生時の対応等について、具体的な計画となっているか。</li> </ul>	5
	施工計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺施設・環境、コスト縮減に配慮した計画となっているか。</li> </ul>	5
	周辺環境との調和	<ul style="list-style-type: none"> <li>合理的、機能的に配置され、周辺環境に配慮した計画であるか。</li> </ul>	5
			<b>20</b>
市民に開かれた施設	環境学習拠点としての機能、啓発・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>見学者、地域住民の視点に立った見学設備、施設配置・設備について具体的な提案がなされているか。</li> <li>見学者、地域住民のニーズに対応した3R等の環境学習の提供ができる計画であるか。</li> </ul>	5
	地域住民、他の公共施設との関連性	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の利用、市庁舎など他の公共施設との連携に関する具体的な計画であるか。</li> <li>工事期間中の進捗よく状況の説明や地域活動への参加等について検討しているか。</li> </ul>	5
			<b>10</b>
その他	地域貢献に対する提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元企業の活用を図るための体制や発注計画・金額について、具体的・有効な提案となっているか。</li> <li>多摩地域で産出、生産または製造される資材等の活用について検討しているか。</li> </ul>	4
	同種施設建設工事の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>マテリアルリサイクル推進施設等の整備工事に係る施工経験を有しているか。</li> </ul>	2
	不燃・粗大ごみ積替え・保管施設の機能補完に対する提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>不燃・粗大ごみ積替え・保管施設が有するスペース、機能との連携に関する対応が可能な計画であるか。</li> </ul>	4
			<b>10</b>
	技術評価点		<b>60</b>

表2 技術要素審査の採点方法（5段階評価）

評価	評価	評価の点数化
A	当該評価項目において非常に優れている。	項目ごとの配点×1.00
B	当該評価項目において優れている。	項目ごとの配点×0.75
C	当該評価項目において、具体的かつ適切な提案がなされている。	項目ごとの配点×0.50
D	当該評価項目において、適切な提案がなされている。	項目ごとの配点×0.25
E	発注仕様が満たされている。	項目ごとの配点×0.00

### (3) 価格要素審査

価格要素審査は、入札価格が予定価格（以下本基準においては消費税及び地方消費税抜きの金額を意味するものとする。）の範囲内にあることの確認を行い、入札価格を点数化する。

価格要素審査の点数化の方法については、以下の算定方法とする。なお、点数化にあたっては、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで算定する。

また、価格要素審査の配点は、40点（総合評価点は100点満点）とする。

$$\text{価格評価点} = \text{配点} \times (\text{最低入札価格} / \text{入札価格})$$

※最低入札価格：価格要素審査で適当と認められた入札者から提出された入札価格のうち最低の入札価格

※入札価格：入札者から提出された入札価格

なお、入札価格が予定価格を上回った入札者及び小金井市総合評価方式実施ガイドラインの規定により定める失格基準を下回った入札者は失格とする。

また、入札価格が低入札価格調査基準価格を下回った入札者のうち当該入札価格が失格基準以上であったもの（以下「低入札価格調査対象者」という。）は、「小金井市清掃関連施設事業者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）にて低入札価格調査ヒアリングを受け、入札価格が適当と判断されれば、総合評価に進むことができるものとする。不適当と判断された場合は、失格とする。

### (4) 総合評価

総合評価は、(2)「技術要素審査」による評価点と(3)の「価格要素審査」による評価点を加えて総合評価点を算出し、落札者を決定する。

総合評価点は、100点満点とする。

なお、総合評価点が同点の場合には、技術要素の評価点が高い者を落札者として決定し、技術要素の評価点も同点の場合には、提案の評価分類で「ライフサイクルコストの低減」の評価が高い者を落札者とする。それでも順位が決定しない場合には、電子調達サービスのシステムによるくじで落札者を決定する。

$$\text{総合評価点} = \text{技術評価点} + \text{価格評価点}$$



5) 審査経過

入札・委員会の経過は表3のとおりである。

表3 入札・委員会の経過

年 月 日	曜日	内 容
2021（令和3）年3月		選定委員会で落札決定基準決定、学識経験者への意見聴取
4月6日	火	指名業者選定等委員会
4月9日	金	入札公告・申込み受付開始
4月16日	金	質問締切（第1回）
4月21日	水	質問回答（第1回）
4月23日	金	申込み締切
4月27日	火	指名業者選定等委員会
4月30日	金	入札参加資格確認結果通知書発送
5月21日	金	質問締切（第2回）
5月28日	金	質問回答（第2回）
6月25日	金	電子入札・技術提案書提出期限
7月12日	月	第1回委員会（基礎審査結果の報告）
7月29日	木	第2回委員会（ヒアリング、技術要素審査）
8月2日	月	開札 10時
8月4日	水	第3回委員会（総合評価、落札者の決定、審査講評）
8月6日	金	落札者決定通知、仮契約
9月28日	火	本契約

#### 4. 審査結果

##### 1) 資格審査

市は、入札希望者から提出された一般競争入札参加資格について、審査を実施した。

入札参加希望者が参加資格を満たしていることを確認し、令和3年4月30日に入札参加希望者へ入札参加資格確認結果通知書を通知した。

##### 2) 基礎審査

資格審査に合格した入札参加者から提出された書類について、発注仕様書等に示された性能要件を満足するものであること、事業としての妥当性を有していることの審査を行った。

提出書類等の確認、契約条件の遵守、発注仕様書に示された基本事項の確認の審査項目について、発注仕様書等に示された性能要件を満足するものであることを確認できたので、基礎審査は合格しているものと認められた。

##### 3) 技術要素審査

委員会は、技術要素審査に当たり、技術要素提案書に関する入札者による説明（プレゼンテーション）及び提案内容に対する質疑（ヒアリング）を実施して審査を行った。

具体的には、入札者から提出された技術要素提案書の内容について、落札者決定基準に基づき、5段階評価を行い、評価・点数を決定した。

表4 技術要素審査結果

技術要素の提案内容		配点	評価	評価点
効率性・経済性に優れた施設	ごみ供給条件、物質回収、資源化率・量	5	B	3.8
	ライフサイクルコストの低減	10	C	5.0
	省力性・利便性、省エネルギー・地球温暖化防止	5	C	2.5
		<b>20</b>		<b>11.3</b>
環境と安全に配慮した施設	公害防止対策、作業環境保全	5	C	2.5
	災害時・非常時対応、事故・故障時対応	5	B	3.8
	施工計画	5	C	2.5
	周辺環境との調和	5	A	5.0
		<b>20</b>		<b>13.8</b>
市民に関われた施設	環境学習拠点としての機能、啓発・情報発信	5	B	3.8
	地域住民、他の公共施設との関連性	5	C	2.5
		<b>10</b>		<b>6.3</b>
その他	地域貢献に対する提案	4	C	2.0
	同種施設建設工事の実績	2	B	1.5
	不燃・粗大ごみ積替え・保管施設の機能補完に対する提案	4	C	2.0
		<b>10</b>		<b>5.5</b>
	技術評価点	<b>60</b>		<b>36.9</b>

#### 4) 価格要素審査

開札を行い、入札金額を確認した。入札金額が予定価格を超えていないこと、低入札調査価格を下回っていないことが確認された。

委員会は、開札結果の報告を受け、落札者決定基準に基づき、価格要素を審査して点数化を行った。

表 5 価格要素審査結果

項目	配点	結果内容
入札金額（税抜）	—	5,500,000,000 円
価格評価点	40	40.00

#### 5) 総合評価

技術評価点と価格評価点から、表 6 のとおり総合評価点を算出した。

表 6 総合評価結果

項目	配点	結果内容
技術評価点	60	36.9
価格評価点	40	40.0
総合評価	100	76.9

#### 6) 落札者名

委員会は総合評価の結果に基づき、メタウォーター株式会社 営業本部 東京営業部を市長に報告する落札者として決定した。

## 5. 審査講評

### 1) 技術要素審査項目の講評

技術要素提案書の各審査項目についての講評は表7のとおりである。

表7 技術要素審査結果

技術要素の提案内容		技術評価点
効率性・ 経済性に 優れた施設	ごみ供給条件 物質回収 資源化率・量	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ量、ごみ質の変動に対して、一定の余裕率、スペースを確保した提案がなされていた。</li> <li>手選別作業を軽減し、選別精度を向上するための選別設備の採用の提案を評価した。</li> </ul>
	ライフサイクル コストの低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>消耗品の長寿命化、鋼製製品やコンクリートの摩耗防止対策が提案されていた。</li> </ul>
	省力性・利便性、 省エネルギー・地球温暖 化防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>省スペース、機器点数を削減している提案がなされていた。</li> <li>選別残さの搬送設備を集約している提案がなされていた。</li> <li>空調・照明設備の省エネルギー化等について、提案がなされていた。</li> </ul>
環境と安全 に配慮した 施設	公害防止対策、 作業環境保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>騒音対策等の公害防止対策について、提案がなされていた。</li> <li>手選別室全般の空調管理を実現する提案がなされていた。</li> </ul>
	災害時・非常時対応、 事故・故障時対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>構造体の耐震化、感震器による地震発生時の対応について、提案がなされていた。</li> <li>危険物による火災対策として、各種検知器及び散水設備を設置する提案を評価した。</li> </ul>
	施工計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下躯体の一部を残置して隣地への影響を防止し、コスト・工期を低減する等の提案がなされていた。</li> </ul>
	周辺環境との調和	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺環境との調和を図る提案がなされている点を優れていると評価した。</li> <li>施設騒音及び将来の設備更新に配慮して施設配置を工夫している提案を優れていると評価した。</li> </ul>
市民に 開かれた 施設	環境学習拠点としての 機能、啓発・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>見学者と作業員の出入口、エレベータを分離するとともに、主要な見学エリアを集約した動線計画の提案を評価した。</li> <li>模型やゲームなど立体的・体験型の環境学習の提案を評価した。</li> </ul>
	地域住民、他の公共施設 との関連性	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民や市庁舎など他の公共施設と連携するための工夫・スペースについて、提案がなされていた。</li> <li>工事期間中の清掃活動や説明会について、提案がなされていた。</li> </ul>
その他	地域貢献に対する提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元企業への発注計画（内容・金額）について、提案がなされていた。</li> <li>地元企業への発注、地元製品・資材の活用の提案がなされていた。</li> </ul>
	同種施設建設工事の実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>多摩地域での同種施設での実績を有することを評価した。</li> </ul>
	不燃・粗大ごみ積替え・ 保管施設の機能補完に 対する提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転・維持管理における施設相互の効率化、不燃・粗大ごみ積替え・保管施設を補完する提案がなされていた。</li> </ul>

## 2) 総評

本工事は、市内で排出されるプラスチックごみ、ペットボトル、空き缶、びん等を選別・圧縮・梱包する機器等を整備するとともに、施設周辺の住民に対し、安全で安心な清掃関連施設を整備するものである。

入札者は1者であったが、入札者の提案は、本工事の目的や市の状況を理解し、豊富なノウハウと能力、創意工夫が反映された内容であり、市の示した発注仕様に沿った提案であったことを踏まえ、提案作成には相当の労力を要したと推測され、短期間のうちにこのような提案をまとめあげた入札者に対して、深く敬意と謝意を表したい。

委員会では、入札者の提案内容について厳正なる審査を進めた結果、市のごみの収集区分を考慮したシステムを採用し、資源の効率的な処理を図っている点、周辺環境との調和に配慮した施設計画とした点を評価し、メタウォーター株式会社 営業本部 東京営業部を落札者として決定するに至った。

今後、市及び落札者は、工事契約を締結し、設計・施工に着手していくことになる。市及び落札者は、本工事をより質の高いものとするために具体的な協議を進め、事業の円滑な推進に万全を図られたい。

なお、委員会の審議において、提案内容について以下のような配慮すべき事項が挙げられた。

これらの配慮事項については、落札者は市と十分な協議を行い、真摯な対応に努めていただくよう、委員会として要望する。

- 設計・施工を通して、発注仕様及び提案事項については誠意をもって確実に履行すること。
- 設計協議や施工中に確認された課題については、誠意をもって協議し、対応すること。
- プラスチック資源の有効利用など、最新の法制度や技術動向を踏まえ、提案以外の資源化方法についても継続的に検討していくこと。
- 市民に親しまれる施設となるよう、市と十分に協議を行い、その実現を図ること。
- 不燃・粗大ごみ積替え・保管施設との連携・補完が可能な施設とすること。
- 省エネルギー、温室効果ガス排出量の削減など地球温暖化防止に向けた取り組みに努めること。
- 工事の実施に当たっては、工事管理を適切に行い、作業安全に努めること。また、第三者災害の防止、周辺住民の皆様の安全確保や住環境の保全に留意すること。
- 地元企業への発注額をさらに増やすよう努めること

最後に、本工事は、これまで現施設において積み重ねられてきた地域との連携があることを認識し、市民・市・施工者の相互の理解と信頼を深めながら、施工されるよう努められたい。